

南城市大里出身の名士

大城精徳展



「デイゴと傷ついた石垣」

大城精徳の絵画を中心に
出版物及び民具などの作品を展示します。



雑誌「琉球の文化」



「石垣と赤瓦の家」

■大城精徳プロフィール

大城精徳(おおしろせいとく)または大城精豊(おおしろせいほう)
1928年9月14日～2007年12月17日
沖縄県島尻郡大里村(現南城市)稲嶺(目取真)出身
首里高等学校社会科の教師となった1952年頃から、名渡山愛順に洋画を学ぶ。
1955年に沖展に初出品・初入選。
1958年から1960年までは沖展運営委員を務める。
1956年に二科展に初入選し、以後、毎年出品を重ねる。
画家としてだけでなく、雑誌「琉球の文化」(琉球文化社)を創刊するなど、郷土文化研究者として戦後沖縄の文化芸術発展に大きく貢献した。

2022/6月22日(水)～7月10日(日) **入場無料**
南城市文化センター2階 洋会議室

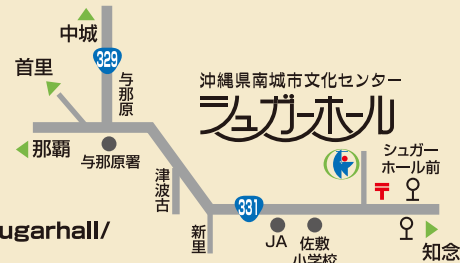
午前9時～午後5時(月曜休館)

- 主催：南城市・南城市教育委員会
- 協力：沖縄県立博物館・美術館

【お問合せ】



TEL : 098-947-1100
H P : <https://www.city.nanjo.okinawa.jp/sugarhall/>
E-mail : hall@city.nanjo.okinawa.jp



※新型コロナウイルス感染防止対策のため、入場の際はマスク着用及び手指の消毒をお願い致します。また、入場者多数の場合は、人数制限をさせて頂く場合がありますのでご了承下さい。